



新田 勝見 議員

一問一答方式

その他の質問

- 今後の市立小学校のあり方について

シカ被害増、対策は

市長 悩ましい問題、研究会を立ち上げる

シカの被害は、県内最大の1億円を超えている遠野市。ワナ掛けや駆除隊の皆様には日夜を問わず活動していることには、頭の下がる思い。しかし、それ以上にシカの数は、増え続けている。農作物の被害はもとより公共牧場においてもシカの害は顕著であり、牛馬の工サも十分確保されず、牛馬が痩せていると聞いている。

このままでは、水稲も畜産も野菜も被害にあい、継続不可能となる。今年度は、シカで悩まない地域にしたいが市長の考えは。

悩ましい問題だと思ふ。ハンターも足りないの若い女性も関わっていただくことも必要だし、モンキードックということもある。犬で追い払うもので東北でも成果を上げているところもあり、やれることの情報収集をして、やれることはまずやってみる姿勢が必要だと考えるし、これから研究会検討会を立ち上げて、次、何をすればいいのか追求していきたい。

答(市長).....



シカ除けネットを張る住民

駅舎の考え方について問う

市長 市民の意見の集約必要



昭和41年の遠野駅前の様子

全協において、今までの遠野駅舎改築整備に係る関係団体説明会の結果報告があった。本来現駅舎の存続を求めてスタートしたものが、その後JR側では、耐震などの安全面において難しいので規模縮小して改築したいとの考えだったと思う。今回A案からE案まで5つの案の資料が配布され、事業費数が10億円、大きなホテル必要か、大型入浴施設

その総意は、どのようにして収集するか。

答(市長).....

駅舎を考える会だけではなく市民の総意とするためには、小さな拠点も参加していただいた意見の集約を進めるべきと思う。特定の人のみだけでは進めない。

PFI事業の導入

市長 検討に値する

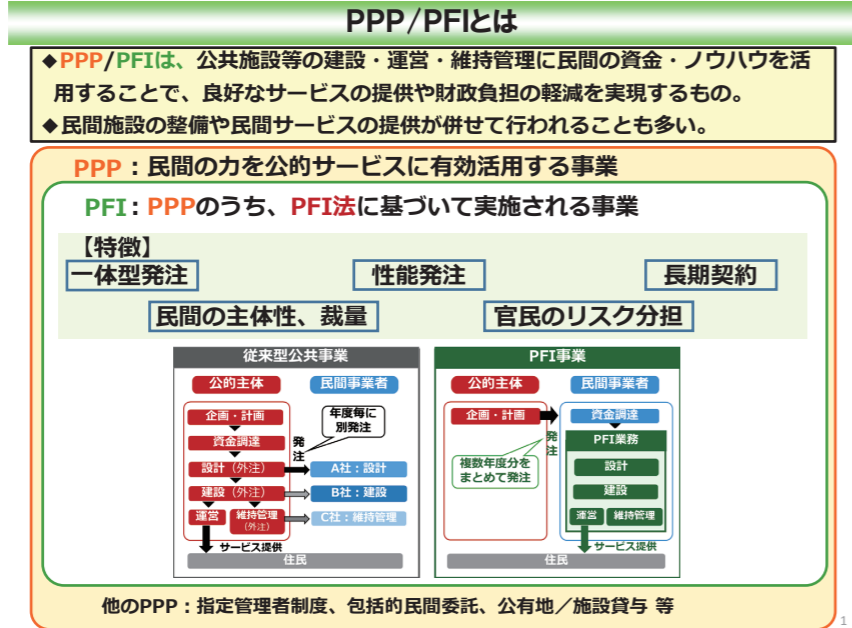
日本におけるPFI事業は着実に増加している。市民サービスの向上や公的負担抑制の観点から、公共施設の整備・維持管理等に民間能力のより一層の活用が重要。

と、民間の参画がどこまで期待できるかというところもある。しかし、PFI事業の導入は検討するに値することだと考える。

令和3年6月、内閣府及び総務省の連名で、「PPP/PFI手法導入優先的検討規程の策定に関する要請」が各自治体に発出された。

本市における、本規程の策定状況はどうか。

過去、学校給食センターや本庁舎建設の際に検討した経緯はあるが、PFI手法を用いた取り組みはまだ無い。事業規模が小さい



答(市長)..... PFI優先検討規程の策定は必要。時期は未定である

が、将来に向けて用意しておくという点では必要なことだと認識する。

PFIプラットフォームの立ち上げ

市長 選択肢の一つになる

全国各地で、PFIプラットフォーム(情報交換の場)が数多く形成されている。その結果、地域の様々な分野の民間事業者の企画・提案・事業推進力の向上が図られ、PPP/PFI事業に繋がっている。

産学官金の対話は非常に重要。プラットフォームが求められていることは、地域を運営する上で重要なことだと理解している。民間ノウハウの活用には多種多様な方法があり、検討していかなければならぬ。

答(市長).....

選択肢の一つになりうる。民間にできることは民間に任せ、利益を出していただくという手法を促進していきたい。重要な課題の一つとして取り組んでいく。